



公益財団法人 国際文化会館
International House of Japan

日文研・アイハウス連携フォーラム 8

川端康成文学と中国美術

講師：周 閱 シュウ・エツ

(北京語言大学比較文学研究所教授/日文研外国人研究員)

2016年 7/27 (水)

6:30-8:00 pm (開場 6:00 pm)

会場：国際文化会館 講堂

用語：日本語(通訳なし) 参加費：無料(要予約)

川端康成の文学研究は、これまでに主に日本の伝統文化や、西洋文化との関連で進められてきました。川端康成の名は中国でも広く知られていますが、中国文化との関係についてはまだ十分に研究されておらず、川端が中国の宋・元時代の美術に心酔し、絶賛していたことはあまり知られていません。また、中国での川端研究は、中国自体の社会発展と意識形態の変化により大きな影響を受けてきました。

本講演では、周氏に川端本人の収蔵品を手がかりに川端が中国の宋・元美術に魅かれた理由を分析いただきます。また、宋・元美術の特徴をその人文的意味と宗教的色彩などの側面から捉えつつ、中国美術と川端の文学・美意識との関わりを究明いただきます。



周 閱 (シュウ・エツ)：北京語言大学比較文学研究所教授。北京大学(比較文学専攻)にて文学博士号取得。専門は日中比較文学(特に川端康成文学と中国文化)、日本中国学。2016年2月から国際日本文化研究センター外国人研究員。単著に『比較文学視野における日中文化交流』(復旦大学出版社、2013年)、『川端康成文学の文化学研究—東方文化を中心に』(北京大学出版社、2008年)、『よしもとばななの文学世界』(寧夏人民出版社、2005年)など。論文に「青木正児の中国旅と中国研究」(『漢学研究』第十四集、学苑出版社、2012年)など八十数篇。

❖ 国際文化会館(アイハウス)と国際日本文化研究センター(日文研)は、多角的に現代日本の理解を深めるためのフォーラムをシリーズで共催しています。

お申し込み・お問い合わせ

国際文化会館 企画部 (月-金 9am-5pm)

東京都港区六本木5-11-16 TEL:03-3470-3211

E-mail: program@i-house.or.jp <http://www.i-house.or.jp>

講演当日、予約確認メールまたは本チラシをご提示の上、国際文化会館内のレストランでお食事いただいた方には食後のコーヒー/紅茶もしくはアイスクリーム(ザ・ガーデン)、グラスワイン(SAKURA)をサービスいたします。ご利用の際は、事前ご予約をお勧めいたします。



※ご来館の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。